

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600362		
法人名	社会福祉法人 回生会		
事業所名	グループホーム 福寿		
所在地	西条市飯岡3381番地の1 (電話) (0897)52-1058		
管理者	高橋 早智子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年10月8日	評価確定日	平成20年11月17日

【情報提供票より】 (平成20年8月31日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年4月5日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	8人	常勤	8人, 非常勤 0人, 常勤換算 8.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,100円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月31日現在)			
利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 87歳	最低 77歳	最高 98歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>併設施設で催される劇やお芝居を見物に行くこともある。かかりつけ医の受診の同行等も支援されている。 併設の病院で毎月1回、定期健診を受けておられる。 体調等も考慮して支援されており、体調がすぐれない方には特に、食事もゆっくり食べることができるよう支援されたり、食後は、居室で休めるよう声かけをされていた。 ご自分で描いた絵手紙をご家族に送り、もらったお返事を大切にされていた。 ご家族が来訪された時の写真を大きく引き伸ばし、何枚か飾っておられる居室がうかがえた。ご家族からの手紙や花を飾っている方もおられた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果をもとに改善計画を作成され、地域との交流や利用者の状態に合わせて手すりを増やされる等、取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・職員の意見を聞き取り、管理者が自己評価を作成された。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・運営推進会議では、民生委員の方から地域のボランティアを紹介いただき、受け入れておられる。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族の来訪時、又、必要時にはお電話等で、ご本人の暮らしぶり等について報告されている。ご家族の来訪時や家族会で意見をいただけるよう働きかけておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・フラダンス、日舞、絵手紙等、さまざまな地域のボランティアの方々事業所に来て下さるようになっている。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 社会福祉法人 回生会

(ユニット名) グループホーム 福寿

記入者(管理者)

氏名 高橋 早智子

評価完了日

平成 20 年 10 月 8 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設当初から理念の変更がないが、利用者一人ひとりが、自分らしくやすらぎのある生活が続けられることを理念としている。		現在の理念に、地域密着型サービスとしての理念の追加を考慮していきたい。
			(外部評価) 事業所では、地域と交流する中で、理念に沿って「利用者一人ひとりのしあわせ・やすらぎづくり」を支えていきたいと考えておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を職員室、玄関正面に掲示し、毎月の目標も掲示して全職員で理念を共有している。		管理者・職員全員で理念に取り組んで共有していきたい。
			(外部評価) 毎月、日々のケアを振り返り、月替わりの目標を職員で決め、理念の共有と実践に努めておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるようとりくんでいる	(自己評価) 家族には来訪時や家族会等で、また、運営推進委員会でもメンバーの中に民生委員がいるので、理解してもらえるよう取り組んでいる。		運営委員会等で地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣近所の人グループホームの前を通る事が少ないので立ち寄ってもらうのは難しいが、併設施設の利用者や利用者の家族や知人、併設病院の保育所の子供たちが散歩時に立ち寄ってくれる。民生委員を通じて地域の方が立ち寄ってくれることもある。		運営推進委員会等で、働きかけている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 併設施設の中真中にあり、立地的に難しい点もあるが、地域の民生委員やボランティアの方々が訪問してくれたり、盆踊り等で地域の人々と交流がある。地域のお寺や保育園の行事に招待して頂いて交流を持っている。		
			(外部評価) フラダンス、日舞、絵手紙等、さまざまな地域のボランティアの方々が事業所に来て下さるようになっていく。		さらに、地域の方達とのかかわりをさらに深め、利用者が地域にも出かけて楽しめるような取り組み等に、つなげていかれてはどうだろうか。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 事業所全体として、公民館で地域の方々を招待して看護師による健康チェック、音楽療法士による「なつかしのメロディ」、栄養士による栄養相談等を実施し、地域の方々と交流を持つように取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を大體理解している。職員会議等で話し合い改善していった。		今後も職員会議等で話し合い、改善に取り組んでいきたい。
			(外部評価) 職員の意見を聞き取り、管理者が自己評価を作成された。前回の評価結果をもとに改善計画を作成され、地域との交流や利用者の状態に合わせて手すりを増やされる等、取り組まれた。		この機会に、職員個々も日々を振り返る機会とされてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議を定期的に開催し、利用者の様子や健康状態、取り組んでいることなどを話し、意見を聞いて、改善出来ることは改善していつている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、民生委員の方から地域のボランティアを紹介いただき、受け入れておられる。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市役所を訪問したり電話などでアドバイスしてもらっている。また、介護相談連絡会に参加し、意見交換したりアドバイスして頂いている。		今後も市役所を訪問し、アドバイスして頂き、サービスの向上に取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			市の担当者とは研修・会議を通じて顔なじみとなり、市の窓口にうかがい、気軽に運営について等、相談されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在、必要としている人はいない。		機会があれば勉強会を持ちたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過されることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待について、管理者、職員全員が研修を受けている。また、日頃から虐待について管理者、職員で話し合って防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、解約時に家族に文書や口頭で十分説明し不安な点や疑問な点を伺い説明するようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 管理者、職員全員が利用者と日頃から会話する機会を作り、その会話の中から意見、不満、苦情を聞きだし、運営に反映している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月郵便物を送付する際、写真を同封したり近況報告をしている。また、ホーム便りも送付している。変わった事があれば、その都度、電話で報告したり来訪時に報告している。面会に来られない家族にはこちらから訪問して、健康状態やホームでの生活の様子等を報告している。職員の異動は来訪時に報告している。預り金は「現金出納帳」で管理し、家族が来訪時や個別に訪問して署名捺印をもらっている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、又、必要時にはお電話等で、ご本人の暮らしぶり等について報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族には来訪時や家族会等で意見、不満、苦情を聞くようにしているが、意見、不満、苦情がでることはほとんどないが相談されることはよくある。		その都度対応している。
			(外部評価) ご家族の来訪時や家族会で、意見をいただけるよう働きかけておられる。		事業所では、今後、家族会を年2回に増やし、次回はご家族の方だけでお話しする時間をとる等して、意見・希望を出していただけるよう工夫することを検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月の職員会議で、意見や提案を聞き運営に反映させている。		職員の意見や提案はその都度対処し、運営に反映させている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 人員の確保は出来ている。状況の変化にも職員間で勤務の調整をしている。		臨機応変に対処している。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は最小限に抑えられているし、異動した職員も度々立ち寄っているのでダメージはあまりない。 (外部評価) 系列施設内で異動となった職員が立ち寄られたり、離職された職員が事業所で飼っている室内犬の世話に来る等、関係を断ち切らないように配慮されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所全体で度々研修会があり、全員研修に参加している。外部で研修を受けた時は、研修結果を事業所の職員全員に発表したり、職員会で報告している。 (外部評価) 法人内研修や外部研修は、受講者を決め職員に声をかけておられる。又、その他にも、職員は自主的に外部研修に参加されている。		事業所内外の研修に職員を参加させ、育成していく。 事業所内でも勉強会を行う等、年間計画を立てて、職員個々が知識や技術を深めるような機会を作っていかれてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他グループホームの管理者と交流を持ち、質の向上に努めている。また、他グループホームの利用者と職員が訪問してくれたり、利用者同士の交流する機会を持っている。愛媛県グループホーム協議会の研修にも参加し、質の向上を図っている。		
			(外部評価)		
			地域の他事業所の職員や利用者の方が事業所を訪れる等、交流をされていた。		今後も、他事業所と交流ができるような取り組みをすすめていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者は職員個々に相談を受けている。職員会議等でも問題点を話し合い、少しでもストレスが軽減できるよう努力している。また、事業所全体で、旅行、花見、芋だき、忘年会等を実施しストレス軽減に取り組んでいる。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			毎月、運営者、職員の昼食会があり、その席で表彰したり、各自が向上心を持って働けるように努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			管理者は入居前、本人、家族に面接し、利用に至るまでの状況、不安や希望を聞き取り、受けとめる努力している。		管理者は職員に面接時の状況、不安、求めていることなどを伝え、情報を共有している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者は入居前、本人、家族に面接し、利用に至るまでの状況、不安や希望を聞き取り、受けとめる努力している。		管理者は職員に面接時の状況、不安、求めていることなどを伝え、情報を共有している。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 家族から相談を受けた時、状況に応じて併設施設なども考慮しながら、必要としている支援が出来るよう対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ホームに見学に来てもらい、ホームの中を案内し、雰囲気、他の利用者の日常生活などを見てもらい、安心して入居してもらえるよう家族と話し合っている。		入居前に併設施設のデイサービスや小規模多機能を利用されていた方もおり、馴染みの職員もいるので、その職員を中心にして、家族と相談しながら支援している。
			(外部評価) この1年間は、利用者の入れ替わりがなかったようである。入居時には見学に来ていただいたり、ゆっくりお話をされる等、関係を作りながら入居に至るよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりの出来ることを見つけ、一緒にしている。それぞれ得意とする分野があり、職員が利用者から教えてもらっている。		人生の先輩として職員のわからない事は教えてもらいながら信頼関係を深めている。
			(外部評価) 利用者からお花の活け方や、難しい漢字の読み方・着物のことについても教えてもらうことがある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族が来訪時、利用者の健康状態、ホームでの様子を伝え、利用者と一緒に支える関係作りをしている。		行事があれば家族に参加していただくようお願いし、家族、職員も一緒に楽しみながら利用者を支えていく関係作りをしている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者、家族との会話の中から本人と家族の関係を理解し、支援している。		家族との信頼関係をより一層深めていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 利用者が生まれ育った場所に「ふるさと訪問」したり、友人が訪ねてきてくれたり、和裁を教えていた時の弟子が年に2、3回訪ねてきてくれる方もいる。		「ふるさと訪問」が利用者に好評なので継続して行きたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士のトラブルが起こらないよう、人間関係を把握している。トラブルがあった時は職員が間に入っている。また、利用者が孤立しないよう配慮している。		職員同士で日頃から、利用者同士の人間関係について話し合っている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された方のお見舞いに行ったり、併設施設に入所された方とは毎日会っているので交流がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日頃から時間の許す限り利用者一人ひとりに話しかけるようにしている。会話の中から本人の希望、意向などを把握している。		管理者、職員は本人の希望、意向などを把握している。
			(外部評価)		
			日頃の会話や様子から、ご本人の思いや意向を把握できるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの経験や生活歴や生活環境は本人との会話や、家族から聞いて把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人ひとりの現状は大体把握している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			全身の観察を行うことにより、利用者のレベルを維持しようとしている。家族が来訪時、受診時に医師の意見を聞いておいて、利用者には話しかけるようにしている。		当ホームには経験の豊かな職員が多く、本人が出来ていた事が出来なくなったり、出来なかった事が出来るようになったといった密な観察が出来ている。常に利用者側から物を考える訓練をしている。
			(外部評価)		
			全職員が出席する職員会議で、介護計画について気付きを出し合い、作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			当グループホームは時間の許す限り、一人ひとりに話しかけるようにしている。その時の表情、全身の様子、返答等がいつもと同じか、違っていたら原因を探り、観察して職員全員で話し合っ決めてる。		多忙な業務の中、話し合うことはスタッフの精神面、体力の負担は多いが、常に「休んでいる神経の刺激」と考えて続けていけるようにしたい。
			(外部評価)		
			介護計画は、3カ月ごとに見直し、状態変化時には随時の見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			記録は特記事項を決めている。記録するだけでなく、常に話し合い、その人の現状に合ったプランが出来ているか聞き、状態に合っていない時はその都度変更している。		計画を実施しながらも、利用者のレベルアップを考えている。異常が生じた時は迅速に対応して、大事に至らぬよう管理者、職員全員で心がけている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			希望があれば併設施設を紹介したり、利用者の受診に同行している。併設施設の行事に参加したり、本人や家族の状況に応じて事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		
			(外部評価)		
			併設施設で催される劇やお芝居を見物に行くこともある。かかりつけ医の受診の同行等も支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のボランティア、民生委員が協力、支援してくれている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 併設施設のケアマネジャーに利用者について相談する程度である。		今後、検討していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 特に何もしていない。		今後、検討していきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 併設病院があり、当ホームとは連携がとれている。家族が希望する病院があれば、主治医が紹介状を書いてくれる。適切な医療を受けられるよう支援している。 (外部評価) 併設の病院で毎月1回、定期健診を受けておられる。必要に応じて他の専門病院の受診を支援されている。		家族から信頼されている。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 日頃から主治医との関係を密にし、相談したり診察や治療を受けている。		主治医との信頼関係は出来ている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 併設病院の看護師は利用者全員の名前、症状を把握してくれている。当ホーム職員との信頼関係もあり、気軽に相談にのってもらっている。		信頼関係はできている。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時、家族と相談しながら、医師や看護師などと情報を交換し、家族の意向を尊重しながら納得できるまで話し合っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 症状に変化があった時は、主治医と十分話し合い、主治医は家族が納得するまで話しをされ、全員で方針を共有している。 (外部評価) 重度化した場合や終末期のあり方について、現時点でのご家族の希望について把握されており、今後の状況に応じて、主治医等も含め、話し合いを重ねていく準備がなされている。		本人、家族の意向を尊重しながら、連携を密にとっている。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 主治医に相談しながら、出来るだけ長く当ホームで暮らしてもらえよう支援している。急変があった時の対応は主治医と事前に話し合いが出来ている。		本人、家族の希望に添うように心掛けている。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者が他施設に移り住む際、家族、他施設関係者と情報交換し、他施設の会議に出席することもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		日頃から職員会等で利用者のプライバシーの確保に関して話し合っており、徹底していきたい。
			個人情報の取り扱いについては家族に十分説明し、同意書ももらっている。利用者の誇りやプライバシーを損ねるような言動があった時は職員会等で話し合っている。		
			(外部評価)		
			職員の言葉かけや態度に、ご本人を尊重する姿勢が感じられた。排泄の声かけも周りにわからないよう配慮されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			日頃の会話の中から利用者の思いや希望を聞きだし、自分で決定できることは決定してもらうように支援している。		
			(外部評価)		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		職員が無理に押し付けず、利用者の希望に添った支援をしていきたい。
			一人ひとりのペースに合わせてゆったり過ごして頂いて希望に添うように心掛けているが、職員のペースになることもある。		
			(外部評価)		
			体調等も考慮して支援されており、体調がすぐれない方には特に、食事もしっかり食べることができるよう支援されたり、食後は、居室で休めるよう声かけをされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服は自分で選べる方は本人に選んでもらい、状況に応じてアドバイスしている。理容、美容は家族が行きつけの美容院に連れて行ってる方もいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の献立、食材は併設施設の栄養士が行っているが、献立表を見て利用者の好みに合わない時は、献立の変更をしている。食事の準備や片付けは無理のない程度にしてもらっている。好みについては、日頃の会話の中から聞き出している。 (外部評価) 調査訪問時には、食べにくいゴボウをケーキにしておられた。利用者の中には下膳をされている方もおられた。		さらに、利用者が出来ること出来そうなことを探り、食事一連にかかわることができるよう、支援を工夫されてはどうだろうか。利用者の生活を支えるという点からの取組みが期待される。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 当ホームは全員女性なのでお酒も正月に少し飲む程度でタバコを吸う方はいない。ショッピングの時、好みの物を選んでもらっている。		一人ひとりの好みを把握しており、手作りのおやつを作って食べてもらっている。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 「生活リズムパターンシート」の記録で一人ひとりの排泄のリズムを把握し、声かけやトイレ誘導している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			日曜日以外毎日入浴しているが、拒否される方は無理に誘わず翌日入浴してもらっている。仲の良い方同士一緒に入浴されることもある。		
			(外部評価)		
			入浴を好まない利用者には、誘い方を工夫されたり、夏の間はシャワーや足湯等で対応しておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中、居室で休んでもらったり、食堂のソファで横になってくつろいでもらっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			朝は一緒に掃除し、食事の手伝い、洗濯物などをたたんでもらったり、畑の作物を共に収穫している。週3回音楽療法士が来るのを楽しみにしている。絵を描いたり、かるたとりをしたり、一人ひとりにあった支援している。		
			(外部評価)		
			事業所の畑で栽培したさつまいもを収穫された。ご自分で描いた絵手紙をご家族に送り、もらったお返事を大切にされていた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			本人の希望でお金を持っている利用者もいるが、お金の管理が難しい方がほとんどである。ショッピングの時、職員が見守りながら自分で支払いをしてもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			外出の機会を持つようにしている。利用者が以前住んでいた所や若い頃によく行ったところをドライブしている。		一人ひとりの希望を聞いていきたい。
			(外部評価)		
			事業所では、利用者の安全を考えておられ、現在は、日常的な外出の機会は少なめとなっている。		利用者個々の行きたいところ等を探り、外出を支援するような取り組みも積極的にすすめていかれてほしい。安全にも配慮しながら、利用者の暮らしが広がるような支援の工夫が期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			利用者が以前生活していた場所へ「ふるさと訪問」している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者から電話の希望があれば職員が家族に電話し確認して話してもらうこともある。手紙は折々に絵手紙を出している。家族にも時々手紙を書いてくれるようお願いしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			居室でゆっくり過ごせるよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 当ホームは身体拘束をしていない。職員同士日頃から身体拘束について、話し合って理解している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、居室や玄関に鍵をかけることはない。玄関のドアや窓は開放していることが多い。 (外部評価) 調査訪問時、玄関のドアは開放されていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者が居室にいる時はそっと様子を見に行ったり、声かけをして所在や様子を把握している。		管理者、職員同士声を掛け合って利用者の所在の確認をしている。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 異食の可能性があるので、物品置場に鍵をかけているが、注意の必要な物品は職員同士で声を掛け合って危険を防ぐ取り組みをしている。		常に、利用者一人ひとりの居場所を把握し、異食等の危険がないように取り組んでいる。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 日頃から職員会や申し送りで利用者一人ひとりの状態などを話し合い事故防止に取り組んでいる。		転倒、窒息などを防ぐために、日頃から利用者一人ひとりの状態の変化を見逃さないよう様子観察している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルがあり緊急時の応急手当や初期の対応については、機会がある度に管理者、職員で話し合っている。消防署の指導で救急救命法の講習訓練を実施している。		管理者、職員の連携は取れているし、消防署の指導で全員が救急救命法の講習訓練を受けている。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 1年に2回消防署の方が来られ、事業所全体で避難訓練や消火訓練を行っている。 (外部評価) 夜間を想定した訓練や、消防署による救急救命の訓練を行っておられる。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについては入居時に家族に説明している。また、来訪時や電話でも説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日頃から管理者、職員の連携が出来ており、利用者の体調の変化や異変があれば、即時に対応している。		毎日バイタルチェックし、体調の変化や異変の早期発見に努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬に日付を入れて服薬ミスがないように努めている。薬の用法については、病院が発行してくれる説明書で理解している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 職員は「生活リズムパターンシート」に記録し水分補給、排便チェックしている。身体を動かしてもらうように努めている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 各自、毎食後、口腔ケアしてもらっている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量は毎回記録し、栄養のバランスについては栄養士が献立を作っており、カロリー計算もしている。 (外部評価) 法人内の栄養士の方が献立を作成し、食材が届くようになっている。食事・水分の摂取量は日々の記録で把握されている。		時に、ご家族やご本人の食事に対する意見を聞くような機会を作ってみてはどうだろうか。量や味付け等、具体的なご意見をいただけるような取り組みの工夫が期待される。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症のマニュアルがあり、インフルエンザの予防接種は利用者、職員共している。掃除の時、漂白剤を入れたり、まな板、ふきんの消毒は毎日している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ふきん、まな板等は毎日消毒している。食材は毎日配達されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 手作りポストや建物のまわりに花や作物を植えてホームの前を通る人達に気軽に声をかけてもらえるよう工夫している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 光が強すぎないようにすだれ、たてず、カーテン等をしている。玄関や食堂に季節の花を活けたり、利用者の家族が作ってくれる俳句を掲示したり、行事の時に写した写真や利用者の書いた絵を展示している。 (外部評価) 共用空間には、行事の写真・俳句の作品・季節の草花が飾られていた。室内で犬を飼っておられた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共有の場所にソファや牛乳パックで作った手作りベンチを設置し、思い思いに過ごせるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族と相談しながら、好みの物を持ってきてもらっているが、来訪時に家族、親類、友人と写した写真を大きく引き伸ばし、居室に貼ったり、居心地よく過ごしてもらえるよう工夫している。		
			(外部評価)		
			ご家族が来訪された時の写真を大きく引き伸ばし、何枚か飾っておられる居室がうかがえた。ご家族からの手紙や花を飾っている方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			室内の換気は度々行っている。室内の温度調節も温度計を設置して行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下、トイレに手摺りを設置している。浴槽にはすべり止めを敷いている。浴槽の縁、脱衣場、風呂場入口にも手摺りを設置している。		利用者の状態を把握し、一人ひとりの身体機能を活かした安全な環境づくりの工夫をしていきたい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレ、居室入口に手作りの目印を作り、混乱しないように工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭に長いすや縁台を置いて、作物の収穫時や、日向ぼっこなどをしながら、利用者同士で談笑している。秋は屋外で芋だきをして、その後、花火などを楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃の会話の中から利用者の思いや願いを聞いて、暮らしに反映している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日頃から職員は利用者とのコミュニケーションを大切に、お茶を飲みながらゆったりと会話したり、レクリエーションをしたりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースを掴み、その人のペースにあった暮らしをしてもらえよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の才能をひきだしたり、音楽療法士の指導で歌を歌ったり、かるたとりをしたり、利用者が生き生きと生活出来るよう支援している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	年々利用者が有する機能が低下してきており、外出も1年前と比べて難しくなっている。「ふるさと訪問」、花見、外食等は家族の協力を得て一緒に行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	併設病院があり、当ホームと病院とは連携がとれている。健康管理は毎年健康診断を行っており、医療、安全面で不安があれば主治医が家族に話してくれている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の要望は日々の会話の中から聞き出し、管理者、職員間で情報を共有して、安心して暮らせるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の来訪時、話しをよく聞き、相談にのっている。家族との連絡は密にしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	知人、友人が訪ねて来られる。地域の人も訪ねて来てくれる事もある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが広がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増してい る (自己 評価) ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員のメンバーである民生委員が理解してくれ、民生委員を通じて地域の人 と繋がりができつつある。
98	職員は、生き生きと働いている (自己 評価) ② 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員同士の連携が取れており、管理者は職員の話しを聞いて改善出来ることは改善し ていっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者と職員の会話からおおむね満足しているように思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	来訪時、家族会、運営推進会議で家族に意見や思いを聞くようにしているが、家族も おおむね満足してくれていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

1、同一敷地内に病院、老健、ユニット型特別養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ディサービス、ケアハウス等があり、日頃から連携が取れている。
 2、緑と自然に囲まれており恵まれた環境の中にある。
 3、管理者、職員が利用者一人ひとりの状態について常に把握しており、利用者に異変があればすぐに対応している。
 4、管理者、職員と家族とのコミュニケーションとれており、来訪時、どの職員にも気軽に声をかけてくれる。
 5、作物を作って利用者と共に収穫し、皆で料理して食べている。
 6、管理者、職員の連携がとれている。
 7、利用者一人ひとりの状態に合わせて食事を作っている。昼食にバイキングをしたり弁当を作って屋外で食べることもある。